

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成27年4月

計画の名称	富山県における総合的な土砂災害対策等の推進		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	富山県、富山市、高岡市、射水市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、立山町、朝日町、入善町
計画の目標			

災害から県土を保全し、県民の安全安心な暮らしを守るため、土砂災害を防ぐ、砂防設備、地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設の着実な整備を進めるとともに、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定や警戒避難体制の整備などのソフト対策を進める。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害危険箇所の整備率を、31.5%（H22.3月末）から34.6%にする。</li> <li>土砂災害警戒区域の指定率を、54.1%（H22.3月末）から100%にする。</li> </ul>
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)							
土砂災害危険箇所の整備率	31.5%	—	34.6%							
土砂災害警戒区域の指定率	54.1% (2,672箇所)	—	100% (4,944箇所)							
全体事業費	合計 (A+B+C)	23,190 百万円	A	22,665 百万円	B	百万円	C	525 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.3%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
富山県土木部砂防課	平成27年4月 公表の方法 富山県ホームページ

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>境大谷川通常砂防事業による砂防堰堤整備により、あいの風とやま鉄道や国道8号等の重要交通網の安全性が高まった。</li> <li>魚津市石垣地区や富山市金屋地区の急傾斜地崩壊防止施設の整備により、要配慮者等利用施設（老人保健施設、総合支援学校）の安全性が高まった。</li> <li>土砂災害警戒区域の指定により、市町の土砂災害ハザードマップの配布が進捗したことで、警戒避難体制の充実が図られた。</li> </ul>				
II 定量的指標の達成状況	指標①（土砂災害危険箇所の整備率）	最終目標値	34.6%	目標値と実績値に差が出た要因	近年に被災した箇所など、重要整備箇所以外の危険箇所でも整備を行ったため
		最終実績値	33.4%		
II 定量的指標の達成状況	指標②（土砂災害警戒区域の指定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	関係機関等との調整に時間を要し、一部地区で指定手続きが遅れたため
		最終実績値	98.8%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	—				

3. 特記事項（今後の方針等）

本県は、地形が急峻で脆弱な地質が広く分布していることから、急流荒廃河川が多く、土砂流出による土砂災害が近年においても多発している。今後もハード整備と併せてソフト対策を一体的に推進することにより、県民の安全・安心の確保に努める。

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

